

4

取り付け前に

1. 給水圧力の確認

●使用圧力

①瞬間式給湯機と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力(注)… (水栓の最低必要圧力)+0.03MPa(流動時)
最高圧力 … 0.75MPa(静止時)

(注)水栓の最低必要圧力については、水栓の施工説明書をご覧ください。

②貯湯式給湯機と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力 … 0.05MPa
最高圧力 … 0.75MPa

ただし、下記水栓については最低必要圧力が異なりますので注意してください。

- 整流・ソフト切替式のハンドシャワー水栓 … 0.08MPa以上(流動時)
- 一時止水機能付きのハンドシャワー水栓 … 0.10MPa以上(流動時)

●やけど防止や配管保護のため、**給水圧力は給湯圧力より必ず高くする**か、**同圧になるように**してください。

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。

2. 給湯温度の確認

- 誤動作などによるやけど防止のため、**60℃給湯**をおすすめします。

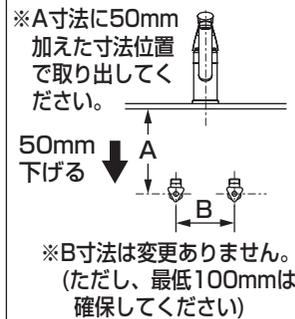
3. 給水・給湯取出位置について

- 水栓の止水栓取出位置を**約50mm下げて**取り出してください。

駆動部を取り付けることにより、水栓の給水管(またはホース)の接続が上がり、場合によっては取り付けできないことがあります。

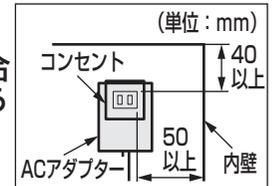
(床給水の場合、止水栓取り付け位置を約50mm下げてください)
水栓の取出位置については水栓の施工説明書をご覧ください。

- 既設配管に取り付ける場合、フレキホース(別売: TNY98LRX50など)で水栓の給水・給湯ホースが折れ曲がらないように配管してください。



4. 配管・配線について

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 乾電池タイプは電源工事不要です。
- AC100Vタイプの場合、**電源はAC100V(50/60Hz)**、最高消費電力は5Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
また、ACアダプターがコンセントより大きい場合がありますので、キャビネットの内壁にぶつからない位置にコンセントを取り付けてください。



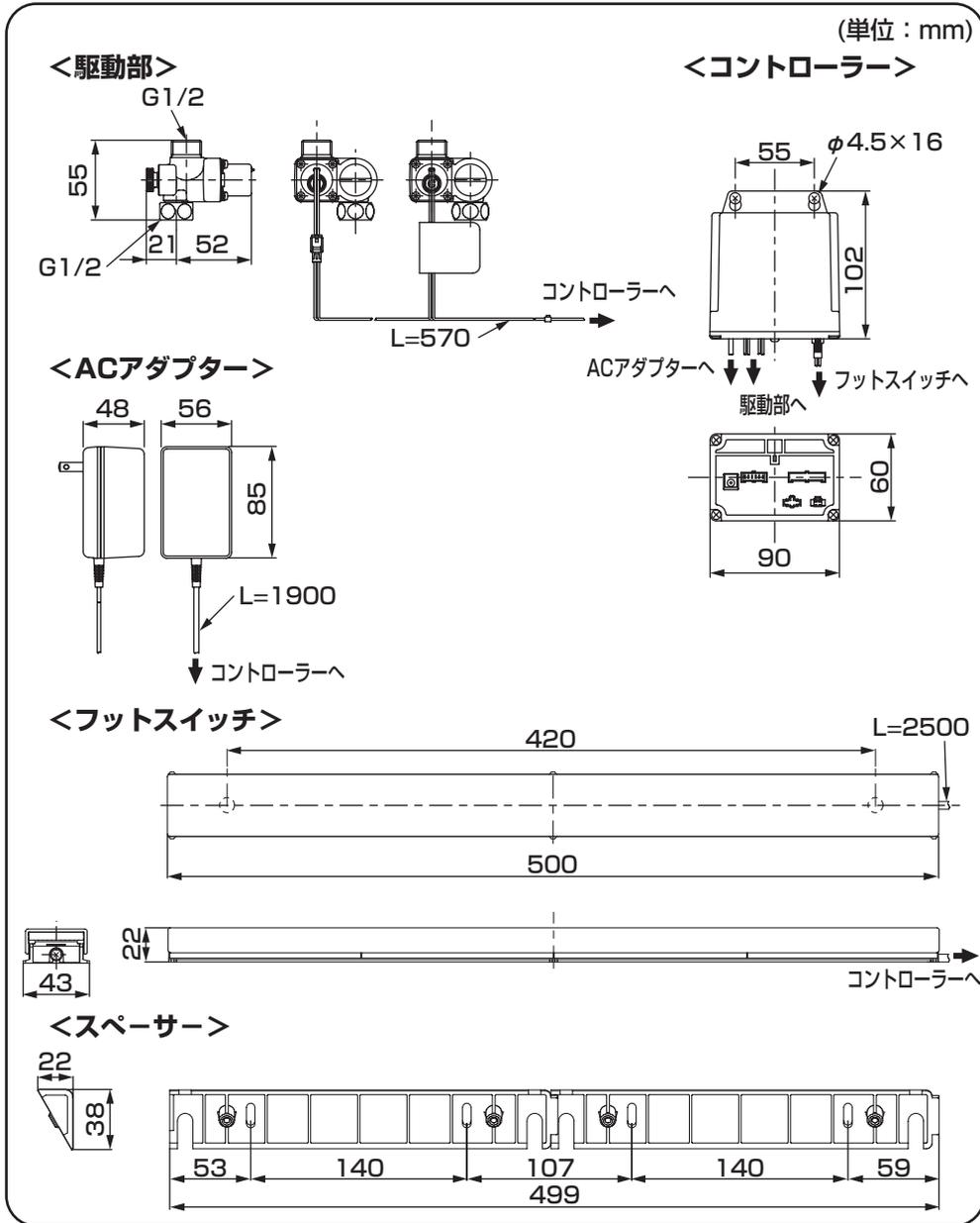
5. その他

- スペーサーの使用および取付方向により、フットスイッチの取付角度が3タイプお選びいただけますので、ご使用されるお客様にご確認ください。
- 踏んで操作するタイプは、前出寸法が大きくなり足が引っ掛かることがありますのでお客様にご確認ください。
- フットスイッチをけこみ板に直接取り付けの場合、けこみの高さは43mm以上必要です。
- コントローラーや駆動部、ACアダプター、コード類は、引き出しや収納物が当たらない位置に取り付けてください。
コード類の断線や故障の原因となります。
- 食器洗浄機などで連続給水が必要な場合は、分岐金具(別売: EUDB904など)で給水管を駆動部の前(上流側)から分岐してください。
自動止水機能(10分)により、食器洗浄の途中で断水します。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

5

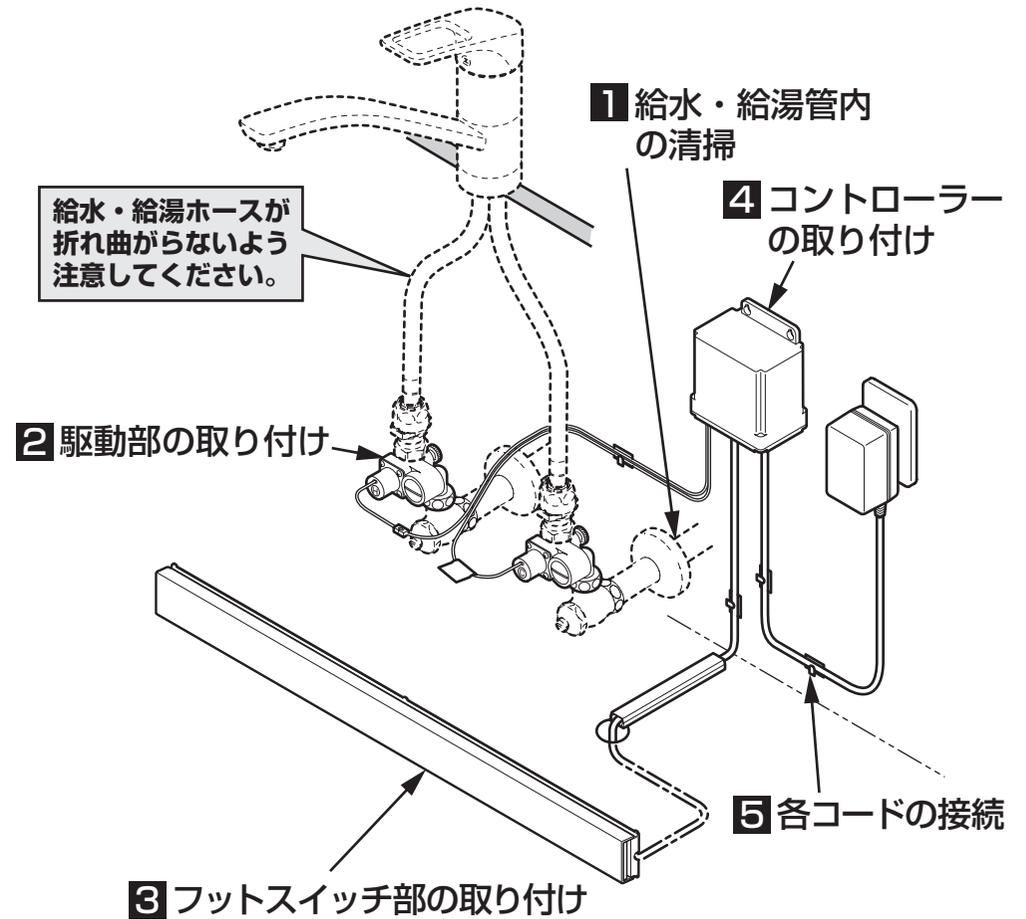
各部の寸法

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1

施工手順



裏面へつづく